

【6】福石地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい福石のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年1月27日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは福石地区にちなんだクイズや、大きな地区の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う福石地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 銀行、病院、商店街があり便利
- 交通の便がよい
- 町内の人々のふれあいがある

【気になるところ】

- 坂や階段が多くて大変
- 空き家や空き店舗、空き地が多い
- 道が狭い割に交通量が多い

\\ 皆さんも福石地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！ //

問1 稻荷町にある「中央下水処理場」は、昭和36年9月に供用が始まりました。標準活性汚泥法という方法で処理されていますが、1日どれくらいの汚水を処理しているのでしょうか？

- ①約22,000m³ ②約33,000m³ ③約55,000m³

問2 今から30年以上前の昭和46年、福石小学校には何人の生徒がいたのでしょうか？

- ①730人 ②786人 ③923人

問3 平成19年8月現在、福石地区の高齢化率はどれくらいでしょうか？

- ①33.4% ②29.3% ③35.5%



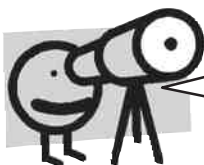
※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年2月24日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

公園に家庭ごみの
持ち込みがある



【“みんなにできること”の意見】

- ごみは持ち帰るよう心がけましょう
- ゴミ箱を一切置かないようにしましょう
- 捨てられないようにきれいに保ちましょう
- 言葉を工夫して大きな看板を設置しましょう
- 周辺の住民が情報を共有しましょう

参加した皆さんの感想から

◎最近不足している人と人とのふれあい、コミュニケーション、助け合い等すべてがお茶の間トークにあると思った。

◎町内会等をはじめ、それぞれ抱えている問題は多いと思うが、地域みんなんで助け合えば何とかかなると思った。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、福石地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。



この“お茶の間トーク”での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！